

長崎市個別施設計画
(廃棄物処理施設 編)

令和3年3月

令和5年4月改訂

目次

1	計画の目的と位置付け	1
2	計画期間	3
3	対象施設	3
4	対策の優先順位の考え方	6
	(1) 廃棄物処理施設の適正化方針（施設の課題及び将来の方向性）	6
	(2) 廃棄物処理施設の適正配置基準	6
	(3) 地区別計画における廃棄物処理施設の位置付け	7
5	公共施設保全計画に基づく長寿命化の実施	7
	(1) 継続保有の場合	7
	(2) 廃止及び民間移譲の場合	9
6	個別施設の現況及び将来の見込み	10
	(1) 個別施設の状態等	10
	(2) 対策内容と実施時期	11
	(3) 対策費用	12

1 計画の目的と位置付け

長崎市は、これまで人口増加に伴い、多くの公共施設を建設してきました。また、平成16年度及び17年度の近隣7町との市町村合併により、多くの公共施設を旧町から引き継ぎました。現在、これらの公共施設は老朽化が進み、今後これから一斉に大規模な修繕や建替えの時期を迎えることとなります。

今後は、急速に進行する人口減少・少子高齢化や財政状況等を踏まえながら、計画的に施設の更新や統合・廃止等を進めていくことが求められており、そのような背景から、本市が管理する公共施設やインフラ施設について、総合的かつ計画的な管理を推進するための基本的な考え方を示すため、「長崎市公共施設等総合管理計画(以下「総合管理計画」という。)」を策定しています。

長崎市個別施設計画(以下「個別施設計画」という。)は、「総合管理計画」に基づき、個別の施設単位あるいは施設分類単位で、施設の建替更新や廃止等の今後の方針を示し、施設を安全・安心で、次世代に大きな負担を残すことなく、次世代に継承できる持続可能な公共施設へと見直すことを目的として策定するもので、市域をまちの成り立ちや地形、交通網、人口などをもとに17の地区に設定し、地区の事情を考慮して策定する「地区別計画」と並び、本市の公共施設マネジメントの実施計画として位置付けています。

(上位計画) 長崎市第五次総合計画

これからの長崎市がめざす将来の都市像を掲げ、その実現に向けた基本的な姿勢や道筋を明らかにしたもので、すべての市民と行政にとって共通のまちづくりの指針となるもの。



(行動計画) 長崎市公共施設等総合管理計画

本市が管理する公共施設やインフラ施設について、総合的かつ計画的な管理を推進するための基本的な考え方を示す計画



長崎市公共施設の適正配置基準

行政サービスのあり方とそれを提供する施設配置の基本的な考え方を示すもの

長崎市公共施設保全計画

公共施設の安全性及び機能性を維持し、長寿命化を図るため、保全に関する取組事項を示すもの



地区別計画

用途ごとの基準を、地区でくくり、地区ごとの将来の公共施設のあり方を示すもの

個別施設計画

用途又は個別施設ごとの具体の対応方針を示すもの

2 計画期間

総合管理計画が平成 27 年度を始期とする 15 年間（2015 年度から 2029 年度）であることから、本計画の計画期間については、令和 2 年度（2020 年度）から令和 11 年度（2029 年度）までの 10 年間とします。なお、社会情勢等によって公共施設等を取り巻く環境は、変化し得るため、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととします。

3 対象施設

本市の個別施設計画の策定単位は、総合管理計画の施設分類を基本とし、本計画は廃棄物処理施設（ごみ処理施設・し尿処理施設）を対象としています。

2020 年 4 月 1 日現在

番号	名称	所在地	建築年	床面積 (㎡)
1	西工場	神ノ島町 3 丁目 526-23	2016	14,465.35
2	東工場			
	(1) 東工場（工場棟、管理棟、計量機棟）	戸石町 34-2	1988	10,278.38
	(2) 東工場プラスチック製容器包装選別施設	戸石町 34-2	2003	1,487.65
	(3) 東工場紙ごみ一時保管施設	戸石町 34-2	1996	300.00
3	三京クリーンランド埋立処分場			
	(1) 三京クリーンランド埋立処分場（管理棟及び排水処理施設）	三京町 43-4	1986	736.42
	(2) 三京リサイクルプラザ	三京町 43-4	2004	2239.81
4	琴海クリーンセンター	琴海戸根町 832	1990	1,995.00
5	長崎半島クリーンセンター	脇岬町 704-4	1999	2,609.30

(1) 施設概要

施設名称	西工場		
所在地	神ノ島町3丁目526-23		
構造	工場棟	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地下2階地上8階建	
	管理棟	鉄骨造地上5階建	
建築年月日	2016年9月30日		
処理能力	240t/24h		
	(120t/24h×2炉)		
形式	全連続燃焼式ストーカ方式		
設計施工	三菱・フジタ・菱興 特定建設工事共同企業体		

施設名称	東工場		
所在地	戸石町34-2		
構造	工場棟	鉄筋コンクリート造4階建	
	管理棟	鉄筋コンクリート造3階建	
	計量機棟	鉄骨造平家建	
建築年月日	工場棟:1988年3月31日 管理棟、計量機棟:1988年2月29日		
処理能力	300t/24h		
	(150t/24h×2炉)		
形式	連続燃焼式三菱マルチン		
設計施工	三菱重工業株式会社		

施設名称	東工場プラスチック製容器包装選別施設		
所在地	戸石町34-2		
構造	工場棟	鉄骨造2階建	
建築年月日	2003年3月14日		
処理能力	15t/日(5h)		
	(年間予定稼働日数:250日)		
形式	圧縮梱包		
設計施工	プラント設備・設計施工 三井鉱山(株)		

施設名称	東工場紙ごみ一時保管施設		
所在地	戸石町34-2		
構造	鉄骨造平家建		
建築年月日	1996年3月15日		

施設名称 三京クリーンランド埋立処分場					
所在地	三京町43-4				
構造	管理棟	鉄筋コンクリート2階建			
	排水処理施設	鉄筋コンクリート造			
建築年月日	管理棟:1986年6月10日 排水処理施設:1986年12月1日				
処理能力	区分	埋立期間	総面積(m ²)	埋立面積(m ²)	埋立容量(m ³)
	第1工区	昭和61~平成5年度(7年)	398,000	64,000	646,990
	第2工区	平成5年度~(約85年間程度)	325,000	151,000	2,740,000
	第3工区	(約20年間程度)	447,000	74,000	389,000
形式	第1工区埋立(平成5年度埋立完了)	排水処理施設(400m ³ /日) 回転円板・凝集沈殿・ろ過・吸着滅菌・除マンガン →河川放流			
	第2工区埋立	排水処理施設(520m ³ /日) 回転円板・凝集沈殿・ろ過・吸着滅菌・除マンガン →河川放流			
設計施工	第1工区埋立(平成5年度埋立完了)	西日本開発コンサルタント(株)			
	第2工区埋立	国際水道コンサルタント(株) (株)西原環境衛生研究所			



施設名称 三京リサイクルプラザ		
所在地	三京町43-4	
構造	工場棟	鉄骨造地下1階地上2階建
建築年月日	2016年9月30日	
処理能力	25t/日(5h)	
	(12.5t/日(5h)×2炉)	
形式	圧縮梱包	
設計施工	プラント建築設計施工	新日本製鐵・西海建設特定建設工事共同企業体



施設名称 琴海クリーンセンター		
所在地	琴海戸根町832	
構造	管理棟、工場棟	鉄筋コンクリート造地上2階建
建築年月日	1999年3月30日	
処理能力	60kl/日	
形式	高負荷脱窒素処理方式+高度処理	
脱臭設備	アルカリ+活性炭吸着 酸、アルカリ+次亜洗淨	
污泥処理	脱水	
設計施工	株式会社クボタ	



施設名称 長崎半島クリーンセンター		
所在地	協岬町704-4	
構造	工場棟、管理棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階建
建築年月日	1999年3月30日	
処理能力	40kl/日	
形式	膜分離高負荷生物脱窒素処理方式+高度処理	
脱臭設備	アルカリ・酸・次亜洗淨+活性炭吸着	
污泥処理	脱水	
設計施工	栗田工業株式会社	



4 対策の優先順位の考え方

長崎市では、行政サービス分野ごとの公共施設の将来のあり方を示した「長崎市公共施設の用途別適正化方針」と、2040年の予測人口が約33万人という将来の長崎市の姿を見据えて、行政サービスのあり方とそれを提供する施設の配置の数や場所などを示した「長崎市公共施設の適正配置基準（案）」を策定しており、これらを踏まえたうえで、対策の優先順位の検討を行います。

(1) 廃棄物処理施設の適正化方針（施設の課題及び将来の方向性）

ごみ処理施設

ごみ処理施設は、市民生活の中で排出されるごみを適正に処理することを目的として設置しており、今後の人口減少に伴い、ごみ量も減少していくことから、処理施設の規模縮小を図りながらも、より良い生活環境を次世代へ引き継ぐために、適正なごみ処理と処理施設の計画的な整備を行います。

また、焼却施設の建替え時には、高効率なごみ発電施設として建設し、売電することにより自主財源の確保に取り組むとともに、地域における各産業に電気や熱を供給したり、災害時にも安定して供給ができるような、地域のエネルギーセンターとしての新たな価値を創出していくことも検討します。平成28年に建替えを行った西工場は、発電した電力を西工場や隣接する神の島プールで活用します。

埋立処分場については、計画的な整備を行い、長寿命化に努めます。

し尿処理施設

し尿処理施設は、市民生活の中で排出されるし尿等を適正に処理することを目的に設置していますが、今後の人口減少に伴い、し尿等の量も減少していくことから、処理施設の規模縮小を図りながら、将来的には公共下水道へ投入して処理することを基本として取り組みます。

(2) 廃棄物処理施設の適正配置基準

ごみ処理施設

ごみ焼却施設及び資源ごみ処理施設（プラスチック製容器包装選別施設）については、災害等の不測の事態も見据えたリスク分散と、地形や道路状況を踏まえた収集・運搬効率を考慮し、2か所配置します。

仮に1か所のみでの配置とした場合、その中に焼却炉などの処理系統が複数あったとしても、共通機器の部分に災害による被害や故障が生じた場合には施設全体が稼働できなくなり、結果として、全市分の処理が停止することになるおそれがあります。また、災害等の不測の事態により、ごみ搬入経路が寸断される事態も想定され、更に近隣地域には長崎市と同じ行政規模を有する自治体はなく、長崎市の処理量を代わりに賄うことができるような処理施設もありません。

最終処分場については、既存の施設で今後 75 年程度使用できることを考慮し、引き続き現在地に 1 か所配置します。

し尿処理施設

し尿等の受け入れは引き続き必要と見込んでいますが、効率的な収集運搬と処理体制を確保するために、2028 年においては、し尿処理施設はすべて廃止し、西部下水処理場へ投入して処理することを予定として取り組みます。

ただし、し尿等を公共下水道に投入するには、下水処理後の放流水の水質が、法的規制値や地元との協定値を満たす必要があり、条件を満たすために、下水処理場に追加の施設整備が必要となります。

そのため、琴海及び長崎半島クリーンセンターについては、2028 年の西部下水処理場への投入までの間、し尿等の発生量の推移を注視し施設の集約等も考慮に入れながら運転を継続します。

【し尿処理施設の今後の予定】

長崎半島クリーンセンター 2025 年度末廃止予定

琴海クリーンセンター 2027 年度末廃止予定

(3) 地区別計画における廃棄物処理施設の位置付け

地区別計画は、長崎市公共施設マネジメントの実施計画として、将来の長崎のまちの姿をふまえた行政サービスと、それを提供する拠点の配置についての全市的な考え方のもと、市域をまちの成り立ちや地形、交通網、人口などをもとに 17 の地区に設定し、地区の事情を考慮しながら、具体的な施設の将来のあり方や見直しの時期について、地区ごとにとりまとめたものです。

廃棄物処理施設は地区別計画において、都市の様々な活動を支えるうえで基盤となる「都市基盤施設」として、市域全体を行政サービスの対象とし、市街地の広がりや輸送効率性等を踏まえ、周辺環境に配慮して配置することとしています。

5 公共施設保全計画に基づく長寿命化の実施

対象施設の計画的な保全・整備等は、「長崎市公共施設保全計画」に基づき進めます。

(1) 継続保有の場合

引き続き保有していくと判断した施設については、安全性や機能性を維持するよう保全に努めることとし、建築物の機能・性能を適切に保つため、建築物の各部位及び設備機器について劣化の状態を調査する「点検」を行い、部位ごとに適正な対応手法を検討します。

ア 目標使用年数

建築物の物理的耐用年数（構造体（建物躯体）の耐用年数）を採用し、年数については「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事（2003）（日本建築学会発行）」の供用限界期間を参考に、次のとおり設定します。

既存施設	新築施設
65年	一般施設 ; 65年 長期使用施設 ; 100年
一般施設 ; 長期使用施設以外の施設 長期使用施設 ; 大規模な施設（概ね延べ面積1万㎡以上） ※既存施設は、耐震性能が確保できる施設、又は、昭和56年6月以降に着工した施設であること。 ※躯体の安全性を確認した上で、目標使用年数を超えて建物を使用する。 ※文化財等の歴史的価値を有する建築物は、目標使用年数を定めないこととする。	

※「長崎市公共施設保全計画」（平成27年3月策定）より抜粋

イ 保全主要部位

市有建築物の全ての部位を更新すると、工事規模や事業費が膨大なものとなり、財政を圧迫することになるため、建築物の外部に面する部位や主要設備部位などの、建築物の機能や性能を維持する上で重要となる部分を「保全主要部位」として選定します。

・ 建築設備

	対象部位	具体例	更新周期
建築	屋根	屋上防水	20年
	外部仕上げ	外壁、シーリング	20年
電気設備	受変電	配電盤、変圧器、コンデンサ	30年
	非常電源	自家発電装置、静止形電源装置	30年
	防災	自動火災報知装置	20年
	中央監視	監視制御装置	15年
	昇降機	エレベーター	25～30年
機械設備	空調	冷温水機、冷却塔、パッケージエアコン	15年
	給排水	給水管、排水管	30年
		ポンプ	15年
	消火	屋内消火栓、配管	30年
		ポンプ、スプリンクラー	20年
	防災	排煙ファン	25年

※「長崎市公共施設保全計画」（平成27年3月策定）より抜粋

・プラント設備

ごみ焼却施設は西工場の維持管理計画書に基づいた更新周期としています。
資源ごみ処理施設及び最終処分場は「環境省 平成22年度一般廃棄物処理施設
機器別管理基準等検討調査委託業務報告書（平成23年3月）」、し尿処理施設は
「環境省 廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き（平成27年3月改訂）」
に基づいた更新周期としています。

	対象部位	具体例	更新周期
ごみ焼却 施設	受入供給設備	計量機、投入扉、ごみピット、ごみクレーン	20年
	共通設備	投入ホッパ、破砕機、給じん装置	30年
	燃焼設備	燃焼装置（ストーカ）、ストーカ油圧装置、 焼却炉本体、	25年
	焼却ガス冷却装置	ボイラー、スートブロウ、ボイラー給水ポン プ、脱気器、脱気器給水ポンプ、蒸気復水器、 純水装置	35年
	排ガス処理設備	減温塔、ろ過式集じん器、消石灰供給装置、 特殊反応助剤供給装置、排ガス再加熱器、触 媒反応塔	35年
	通風設備	押込送風機、二次送風機、空気予熱器、誘引 送風機	15年
	灰出し設備	灰押出装置、灰コンベヤ、灰ピット、灰クレ ーン、混練機	20年
資源ごみ 処理施設	搬送設備	受入供給コンベヤ、手選別コンベヤ、補助コ ンベヤ	15年
	選別設備	破袋機	15年
	再生設備	圧縮梱包機	15年
最終処分場	排水処理施設	回転円板装置、砂ろ過塔、活性炭吸着塔	15年
し尿処理 施設	水槽	受入槽、貯留槽	10年
	前処理設備	破砕装置、細目スクリーン、し渣スクリュ ープレス	10年
	循環ポンプ設備	循環ポンプ、消泡ポンプ	10年
	脱水機設備	汚泥脱水機	10年
	脱臭装置	脱臭ファン、循環ポンプ、廃液ポンプ	10年
	コンベヤ装置	し渣コンベヤ、脱水ケーキコンベヤ	10年

(2) 廃止及び民間移譲の場合

廃止及び民間移譲を検討している施設については、大規模な改修は行わず、廃止ま
では安全性を確保できる必要最低限の維持管理とします。

6 個別施設の現況及び将来の見込み

(1) 個別施設の状態等

対象施設に係る最終改修履歴と点検結果は以下のとおりです。

2020年4月1日現在

ごみ処理施設

No.	名称	経過年数	階数	改修時期・内容					劣化判明時期・内容			
				耐震化	建築	電気	機械	プラント設備	建築	電気	機械	プラント設備
1	西工場	4	工場棟:8 管理棟:5	新耐震	—	—	—	—	—	—	—	—
2-(1)	東工場(工場棟、管理棟、計量機棟)	32	工場棟:4	新耐震	2016 設備等改修	—	2013 空調設備	2020 焼却設備及び付帯工事	2020法定 外壁躯体、屋上面、防火区画、階段、排煙設備	—	—	2013 焼却ガス冷却装置、灰出し設備
			管理棟:3		2008 屋上防水	—	—	2020法定 地盤、屋上面、階段	—	—	—	
			計量機棟:1		—	—	—	2016 計量機	—	—	—	
2-(2)	東工場プラスチック製容器包装選別施設	17	2	—	—	—	—	2020法定 排煙設備	2020法定 非常照明	—	2020 圧縮梱包機、コンベヤ設備	
2-(3)	東工場紙ごみ一時保管施設	24	1	—	—	—	—	2020法定 外装仕上げ材、内壁躯体	—	—	—	
3-(1)	三京クリーンランド埋立処分場(管理棟及び排水処理施設)	34	管理棟のみ2	新耐震	—	—	—	2020 砂ろ過塔	2020法定 屋上面(排水処理場)	—	—	2019 回転円板装置
3-(2)	三京リサイクルプラザ	16	地下1 地上2	新耐震	—	—	—	—	2020法定 床躯体、排煙設備	—	—	2020 圧縮梱包機、破袋機

し尿処理施設

No.	名称	経過年数	階数	改修時期・内容					劣化判明時期・内容			
				耐震化	建築	電気	機械	プラント設備	建築	電気	機械	プラント設備
4	琴海クリーンセンター	30	2	新耐震	2014 屋上防水	—	2014 空調設備	—	2020法定 地盤、外壁躯体、外装仕上げ材、避雷設備	—	—	2020 細目スクリーン、し渣スクリーン、汚泥脱水機
5	長崎半島クリーンセンター	21	地下1 地上2	新耐震	2015 受入扉	2015 電気設備	2015 管	—	2020法定 地盤、外壁躯体、窓サッシ、屋上周り、屋根、階段、煙突	2020法定 非常照明	—	2020 破砕装置

「劣化判明時期・内容」欄用語の説明

法定；建築基準法第12条に基づく点検

「建築」欄中

外壁躯体；外壁コンクリート鉄筋に爆裂がある状態。

外装；外壁、外壁タイル張りに浮きがある状態。

窓サッシ；鋼製建具に錆、腐食がある状態。

屋上面；屋上防水層に膨れがある状態。

屋上周り；屋上面を除く部分で、軒樋掴み金物、パラペット笠木カラー鉄板に錆、亀裂、爆裂がある状態。笠木モルタル塗に浮きがある状態。

屋根；屋根ガルバリウム鋼板に剥離がある状態。

機器；屋上クーリングタワー、発電機冷却塔架台に錆、腐食がある状態。

防火区画；エレベーター堅穴区画の防火区画が既存不適格な状態。

内壁躯体；内壁タイル塗、内壁・柱型モルタル塗に亀裂、浮きがある状態。

防火設備；常時閉鎖防火戸が常時開放又は完全に閉まらない状態。

排煙窓；排煙機用エンジンの排煙口不動作及び排煙機に不良がある状態。

避雷針設備；避雷針支線固定ボルト、ナット、支線に錆、腐食がある状態。

「機械」欄中

雨水排水管；雨水堅樋配管継ぎ手に腐食がある状態。

高架水槽；鋼製架台、オーバーフロー管に錆がある状態。

「プラント設備」欄中

焼却ガス冷却装置；高圧蒸気復水器の機器設置部分床鋼板に腐食がある状態。

灰出し設備；コンベヤ設備の機器本体に腐食がある状態。

灰押出装置に腐食がある状態。

圧縮梱包機；摺動材に摩耗、変形がある状態。

押込装置に芯ずれがある状態。

圧縮スライド摺動面が摩耗している状態。

コンベヤ設備；受入供給コンベヤのエプロン板に変形がある状態。

補助コンベヤのローラーに異音、プーリーに異物付着がある状態。

回転円板装置；円板体カバーにひび割れ、剥離がある状態。

駆動チェーンに腐食がある状態。

破袋機；エアシリンダーのエア漏れがある状態。

細目スクリーン；スクリーン素子に破損がある状態。

部分的な防食塗装の剥離等内装部品に腐食がある状態。

し渣スクリープレス；洗浄水配管に腐食がある状態。

汚泥脱水機；ミリングバンド緊張用エアシリンダーにエア漏れがある状態。

破砕装置；カップリングカバーに変形がある状態。

(2) 対策内容と実施時期

「4 対策の優先順位の考え方」及び「(1) 個別施設の状態等」を踏まえた個別施設の方向性は次のとおりです。

No.		名称	建築年	短期（～2022年）	中長期（～2029年）
1		西工場	2016	適正管理を行う	適正管理を行う
2		東工場			
	(1)	東工場（工場棟、管理棟、計量機棟）	1988	適正管理を行う	※1
	(2)	東工場プラスチック製容器包装選別施設	2003	適正管理を行う	適正管理を行う
	(3)	東工場紙ごみ一時保管施設	1996	適正管理を行う	適正管理を行う
3		三京クリーンランド埋立処分場			
	(1)	三京クリーンランド埋立処分場（管理棟及び排水処理施設）	1986	適正管理を行う	適正管理を行う
	(2)	三京リサイクルプラザ	2004	適正管理を行う	適正管理を行う
4		琴海クリーンセンター	1990	適正管理を行う	※2
5		長崎半島クリーンセンター	1999	適正管理を行う	※2

※1 東工場については2026年度を目途に新東工場への建替事業を進めています。

※2 し尿処理については2028年度を目途に下水道投入を実施することを検討しています。

(3) 対策費用

「5 公共施設保全計画に基づく長寿命化の実施」及び「(2) 対策内容と実施時期」を踏まえた対策費用については、次のとおり見込んでいます。

<対策費用の見方>

【●●工場】 (単位：千円)

部位/年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替										
屋上防水					○					
外壁					○					
搬送設備	15,000									
選別設備		10,000								
再生設備										

改修済・改修予定の事業の金額を記載しています。

改修を予定している部位については、予定年度に「○」を記載しています。

※「○」を記載している改修予定事業については、改修年度・改修金額が確定した後、具体的な金額を明記します。

【西工場】

(単位：千円)

部位/年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替										
屋上防水										
外壁										
電気										
給排水										
空調										
ELV										
受入供給設備										
共通設備										
燃焼設備										
焼却ガス冷却装置										
排ガス処理設備										
通風設備										
灰出し設備										

【東工場（工場棟、管理棟、計量機棟）】

(単位：千円)

部位/年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替					○					
屋上防水										
外壁										
電気										
給排水										
空調										
ELV										
受入供給設備										
共通設備										
燃焼設備										
焼却ガス冷却装置	135,300									
排ガス処理設備										
通風設備										
灰出し設備										

東工場については2026年度を目途に新東工場への建替事業を進めています。よって東工場の稼働期間中は安全性を確保できる必要最低限の維持管理を行うこととします。

【東工場プラスチック製容器包装選別施設】

(単位：千円)

部位/年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替										
屋上防水						○				
外壁						○				
搬送設備			○							
選別設備										
再生設備										

【東工場紙ごみ一時保管施設】

(単位：千円)

部位/年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替										
屋上防水			○							
外壁			○							

【三京クリーンランド埋立処分場（管理棟及び排水処理施設）】

(単位：千円)

部位/年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替										
屋上防水			○							
外壁			○							
排水処理施設	36,650									

【三京リサイクルプラザ】

(単位：千円)

部位/年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替										
屋上防水			○							
外壁			○							
搬送設備			○							
選別設備										
再生設備										

【琴海クリーンセンター】

(単位：千円)

部位/年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替										
屋上防水										
外壁			○							
水槽						○				
前処理設備										
循環ポンプ設備										
脱水機設備										
脱臭装置										
コンベヤ装置										

し尿処理については2028年度を目途に下水道投入を実施することを検討しています。

【長崎半島クリーンセンター】

(単位：千円)

部位/年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
建替										
屋上防水			○							
外壁			○							
水槽						○				
前処理設備										
循環ポンプ設備										
脱水機設備										
脱臭装置										
コンベヤ装置										

し尿処理については2028年度を目途に下水道投入を実施することを検討しています。

長崎市個別施設計画
(廃棄物処理施設 編)

令和3年3月
令和5年4月改訂

【問い合わせ先】

長崎市環境部環境整備課

電話:095-829-1257

FAX:095-829-1218

Email:kankyouseibi@city.nagasaki.lg.jp